

第2回総合開発審議会協議状況報告

ご意見等	対応
<p>(小野委員) この審議会を今後どのように進めていくのか。全体のフレームを示していただきたい。</p> <p>(小野委員) 総合計画は、どうしても補助金のメニュー別の縦割り行政に合わせた形になってしまう傾向がある。 今回の基本構想(案)でも基本理念は示されているが、八重瀬町の特色が見えてこない。行政として今後、地域をどのように経営していこうと考えているのかが大事だと思う。 それから、補助事業別の縦割りの表現になるのは仕方ないが、まちづくりの現場においては様々な事項が関わってくる。例えば、食育の推進は地元の農業と密接に関わり、雨水利用などは環境問題にも関わってくる。このような関わりも考えていけたら良いのではないか。</p> <p>(玉城委員) 八重瀬町はどういうまちづくりをしていきたいのか。本町の文言・キャッチフレーズを見ると、他市町村と同じようなフレーズを用いている。八重瀬町独特の基本理念はないのか。謝花昇先生や、仲本稔先生などの歴史的人物や文化等を踏まえ、町をアピールできるキャッチフレーズを前面に出しても良いのではないか。</p> <p>(小野委員) 基本構想では細かい表現はしなくても良い。アクションプログラム(実施計画レベル)でしっかりとやれば八重瀬町の特色はでてくると思う。 農水産業がある、那覇に近い都市近郊のまちでのどかな風景も残っているというのは八重瀬町の特色だと思う。例えば、農業(モノ作り)</p>	<p>基本構想は議決が必要であり、6月議会への上程を考えている。5月中には基本構想をまとめた い。</p> <p>28ページの「食育の推進」に「地域の産物を活かす地産地消や・・・」という文言で触れている。 ページ23の「上下水道の整備に「雨水利用の促進など・・・」として文言を追加。</p> <p>31ページの「(5)夢と未来を開く心豊かなまちづくり(教育・文化の充実)」の前文で、謝花先生、仲本先生に関する文言を追加。</p>

をベースとした地域づくりや、謝花昇さんが行った、循環型農業の先駆的な取り組み（畜産と耕種の連携）に関する考えなどを基本構想に謳っても良いのでは。

（玉城委員）

基本構想 20 ページ、まちづくりの基本理念のところに、八重瀬町を表す独自の文言が入ると良いと思う。

（新垣勲委員）

19 ページ(3)「優先的に取り組んでいく施策」について。今後、国道整備に伴い企業が参入してきた場合、その企業で町民が働けるようになるなど、雇用対策に関する事項を盛り込んで欲しい。

（神谷会長）

旧東風平周辺には量販店の進出が目立ってきているが、旧具志頭には店舗が少なく、買い物に不便であるのが現状。例えば国道 331 号周辺に特産品を多く取り扱った施設（道の駅など）を作っても良いのでは。そのようなことを、基本構想の中で謳っても良いのではないか。

（國吉委員）

これから 10 年後の八重瀬町が、どのようなまちになっていくかという事を、写真や動画、ポスターなど目に見える形で表現したほうが分かりやすいのではないか。

（小野委員）

八重瀬町の魅力というのは、都市近郊にあり、農業があり、農地や小さな森があって人が暮らしている。今ある八重瀬町の風景などを写真として残していければ良いと思う。

18 ページの 農業の振興で「環境保全型農業」は文言で触れている。具体的には基本計画で述べる。

13 ページの基本理念の文章や、18 ページ以降の基本目標の達成に向けた施策の方針に、八重瀬町の特色ができるように文言を追加。

20 ページに 雇用対策の強化の項目を追加。

19 ページの商工業の振興の、施策の方針に道の駅などの文言を加える。

基本構想は、まちづくりの考え方の大枠を示すものである。10 年後のイメージを示すと、それが固定化して柔軟な対応が難しくなる恐れがある。

現在の八重瀬町で残しておきたい風景等の写真は、できる限り基本構想のなかに示していきたい。

挿絵の公募とともに残したい風景の写真についても公募を検討する。

(玉城委員)

24ページ(1)の 農業の振興について、「環境保全型農業」として循環型農業の話がある。基本構想で文言としては挙げているが、実際の施策としてはやっていない。八重瀬町の農業においては多面的な部分があるので、今後は耕種と畜産の連携が重要になると思う。また体験型観光などにも力を入れてほしい。基本構想に書くからには、絵に描いた餅にならぬようにして頂きたい。

24ページ(1)の 水産業の振興について、「計画的に獲る」の意味が良く分からない。たくさん獲れるなかで、漁獲量を調整していくような意味にとれる。実際に漁ができる期間というのは限られている。

25ページ(2)の 交通体系の整備について、文中に「広域的な骨格となる」とあるが、那覇空港自動車道が八重瀬町の骨格になるのか。

26ページ(4)の 高齢者福祉の充実について、「単に寿命の延伸だけでなく」は文言的におかしいのではないか。この表現では、長生きするのが良くないという受け取り方もできる。

(小野委員)

25ページ(2)の 交通体系の整備のなかで「歩行者空間」の視点を入れても良いのではないか。

25ページ(2)の 住宅・生活環境の整備について、「自然や田園環境と調和した新たな住宅地開発や協定づくりなどのまちづくりを展開する」とあるが、建築協定に加えて地区計画も加えてはどうか。

25ページ(2)の 上下水道の整備について、雨水利用の促進、またその内容を入れるべきではないか。また、下水道については低予算で維持管理ができるようなことも検討したほうが良い。

26ページ(4)の 健康づくりの推進について、ウォーキングができるような環境整備に取り組む必要がある。

基本構想は本町のまちづくりの総論であり、それに基づいて各施策を展開していきたいと考えている。

18ページの 水産業の振興の施策の方針では「計画的に獲る」を削除。

22ページの 交通体系の整備の那覇空港自動車道を省き文章を変更。

28ページの 高齢者福祉の充実で「単に寿命の延伸だけでなく」を削除。

ページ22の 交通体系の整備の施策の方針に「歩行者空間の確保・・・」という文言を追加。

ページ22の 住宅・生活環境の整備の用語解説「協定づくり」の説明文の中に「地区計画」を追加。

23ページ 上下水道の整備に「雨水利用の促進など・・・」の文言を追加。

「下水道については低予算で維持管理」については、要検討。(基本計画のなかで表現するか)

32ページ「(5) スポーツの振興」の「住民自らの健康づくり」として表現しているが、27ページの 健康づくりの推進にも追加する。

<p>26ページ(4)の食育の推進について、給食との連携、地産地消に取り組んで欲しい。</p> <p>26ページ(4)の高齢者福祉の充実について、高齢者でも現役で農業ができる環境づくりがあれば健康維持にも繋がり、農業の振興にもなる。</p> <p>29ページ(8)の効率的な行政組織について、行政の総合的な考え方が弱い。縦割りの行政的な話だけでなく、庁内の横断的な連携を図る視点が大切だと思う。</p> <p>29ページの3(1)自然環境の保全について、生活環境と密着した身近な樹木も大事になってくるのではないかな。</p> <p>29ページの(2)農地の保全と有効活用について、新規就農できる環境づくりを促進しても良いのではないかな。また、耕作放棄地を利用したい方に提供し、有効利用してもよいのでは。</p> <p>30ページの3(5)土地利用規制の検討について、町として長期的に都市の骨格を形成するため、今後はマスタープランを作る必要がある。それぞれの地域の具体的な意見を反映させながら、町で土地利用のビジョンを作っても良いと思う。</p> <p>(玉城委員)</p> <p>26ページ<P27>に高齢化が進展する中とあるが高齢社会ではないかな。</p>	<p>28ページの食育の推進で「給食との連携」については「学校」として表現。「地産地消」は文言で触れている。</p> <p>28ページの高齢者福祉の充実で「高齢者の生きがいづくり……」の文言を追加。</p> <p>37ページ 効率的な行政組織で「横断的な連携強化とともに……」という文言で触れている。</p> <p>38ページの(1)自然環境の保全に「住民生活に身近な屋敷林……」の文言を追加している。26ページの自然環境の保全にも追加する。</p> <p>38ページ(2)農地の保全と有効利用に「新規就農者の受け入れ」「利用したい方に提供」「市民農園等の有効活用」の文言を追加。18ページの農業の振興にも追加する。</p> <p>38ページの土地利用の基本方向に、土地利用に関する関係法(国土利用計画法/国土利用計画)の文言を追加</p> <p>28ページの 高齢者福祉の充実「高齢化が進展する中」については、高齢化社会とは表現していないので、そのままいいと思うので案のままとする。(神谷会長)</p>
---	--